

五穀豊じょうを願ねがい、おいのりしているそうです。

## 福ふくの神かみの野の原はら

むかしむかし、渡瀬村わたらせむらに太郎蔵たろぞうという農夫のうふがいました。先祖代々せんぞだいたい、村一番むらいちばんの金持かねもちで毎まい日にちのようになぜ客きやくが絶たえることがなく、多おほい日ひには、かわるがわる二十人にじゅうにんもの客きやくがくることがあり、思おもうように家の野良仕事のらしごともできず、家中いえじゅうで客きやくの接待せつたいにおおわらわということがしよっちゅうでした。ところが、太郎蔵たろぞうの家いえは、野良仕事のらしごとを人ひとより一いっ生しょうけん命めいしたいじようにお金かねも入はいり、何なんの苦勞くろうもありませんでした。

しかし、太郎蔵たろぞうは大変たいへんなよくふか者ものだったので、親おやからゆずられた財産ざいさんを、さらに